

① 快適な都市空間の形成

～よりよい都市空間をめざして～

平成25年度の主な取組状況

●土地区画整理の促進

都市計画区域内の土地について公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図り、市街地の良好な環境を整備するため、土地区画整理事業を促進しています。25年度は、大分駅南地区ほか2箇所で行いました。



【大分駅南地区(大分市)】



【大分駅南地区(ホルトホール大分・シンボルロー

●都市公園整備の推進

緑とオープンスペースが果たす環境保全や景観形成、防災、レクリエーション等の多様な機能により、安全で快適な緑豊かな都市環境を形成するため、都市公園整備を推進しています。

25年度は、大分スポーツ公園にて可動屋根制御システム改修や総合競技場芝生張替、大洲総合運動公園では、弓道場屋根の改修などを行いました。



【大分銀行ドーム 総合競技場芝張替】



【大洲総合運動公園 弓道場屋根改修】

目標指標の達成状況

		10年前	H16年度 (計画時)	H25年度	H26年度	H27年度 (目標値)
都市内の街路整備(km)	目標値a	-	-	589	595	600
	実績値b	413	535	601	-	-
	達成率b/a	-	-	102.0%	-	-
土地区画整理施行面積 (ha)	目標値a	-	-	2,792	2,828	2,863
	実績値b	1,725	2,475	2,814	-	-
	達成率b/a	-	-	100.8%	-	-
一人あたり都市公園等 面積(m ² /人)	目標値a	-	-	12.8	13.0	13.0
	実績値b	8.7	10.8	12.9	-	-
	達成率b/a	-	-	100.8%	-	-

業績評価

都市内の街路整備	達成	計画的に街路整備を推進し、目標を達成しました。
土地区画整理施工面積	達成	計画的に土地区画整理事業を促進し、目標を達成しました。
一人当たり都市公園等面積	達成	市町事業の公園や、都市緑地・緑道及び県整備の広域公園等、計画的な整備により、目標を達成しました。

② 生活排水対策の推進

～子どもたちが遊べるきれいな川や海をめざして～

平成25年度の主な取組状況

●生活排水処理施設整備の推進

「大分県生活排水処理施設整備構想2010」に基づき平成41年度末生活排水処理率90%を目標に市町村と連携し整備を推進しています。

25年度は、下水道事業を11市1町1村、農業集落排水事業を3市、浄化槽設置整備事業を16市1町で実施しました。

平成26年3月に中津終末処理場の水処理施設(増設)、杵築終末処理場の定置式汚泥脱水機が供用開始されました。

【事業効果】

◆中津市終末処理場



◆杵築市定置式汚泥脱水機



●生活排水対策の啓発活動

大分の恵み豊かな自然を守り、次の世代に引継ぐために、毎年9月10日から10月10日までを「生活排水きれい推進月間」として、家庭から出る排水をきれいにすることを呼びかけています。

25年度の 主な実施内容	生活排水対策 パートナーシップ推進事業	生活排水は日常生活に起因し排出されることから、家庭における廃食用油の適正な処理等の実践や地域における水環境保全活動への取組みなど、県民一人ひとりが生活排水対策を実践できるよう、NPO法人等の提案を基に、啓発活動を展開しています。 25年度は2団体の提案を採択し、9月～11月に下記の2事業を県内各地で実施しました。
-----------------	------------------------	--



生活排水対策の普及啓発となる講習会やスタンプラリーを市民ホール等で主に家族向けに実施



小学生を対象とした生活排水に関する環境学習、汚れを拭き取るウエス作り、標語作り

川の水 きれいにしたら 海もきれい
節水を がんばってすれば 水きれい
川の水 しぜんのいのち たすけたい
守ろうよ 未来につづく きれいな川
川や海 魚やカエル かがやくね
みんなでね 水を守る だいにね

H25優秀標語

目標指標の達成状況

		10年前	H16年 (計画時)	H25年度	H26年度	H27年度 (目標値)
生活排水の処理率	目標値 a	—	—	70.6%	71.9%	73.1%
	実績値 b	45.3%	58.6%	71.2%	—	—
	達成率 b/a	—	—	100.8%	—	—
生活排水処理施設を利用できる人口		56万人	72万人	85万人	—	87万人

業績評価

達成	市町村に対して財政面及び技術面の支援を行い、目標を達成しました。
----	----------------------------------

③ 渋滞の軽減

～イライラのない交通環境をめざして～

平成25年度の主な取組状況

● 渋滞の軽減対策（都市計画道路下郡中判田線外1線）

大分市中心街の交通混雑解消と、歩行者等の安全且つ快適な通行を図ることを目的として、JR日豊本線をオーバーパスする跨線橋新設と、その前後のアプローチ区間の整備を行います。平成25年度は現道の交通を切替えながら道路の築造工事を実施しました。



【下郡中判田線整備状況】H26.3



● 渋滞の軽減対策（一般県道三重新殿線バイパス）

国道326号の慢性的な交通渋滞の緩和、現道交通減少による歩行者等の安全性向上、さらに中九州横断道路へのアクセス道路の構築等を目的として、一般県道三重新殿線バイパス(全長約10km)の整備を行っています。平成25年度は内田赤嶺工区(L=740m)が開通しました。



目標指標の達成状況

		10年前	H16年度 (計画時)	H25年度	H26年度	H27年度 (目標値)
渋滞対策が必要な箇所数 (箇所)	目標値a	—	—	5	5	5
	実績値b	—	22	7	—	—
	達成率a/b	—	—	71.4%	—	—

業績評価

著しく不十分	(都) 下郡中判田線の開通が延期されたことにより、達成不十分となりましたが、当該路線も26年度には開通予定であり、27年度に設定している目標に対しては順調に推移する見込みです。
--------	--

④ 住宅環境の向上 ~すべての人にやさしい安全・安心で快適な住宅をめざして~

平成25度の主な取組状況

● 県営住宅のバリアフリー化

すべての人にやさしい安全・安心で快適な住宅をめざして、平成25年度は、大分市の明野旭住宅などにおいて38戸の高齢者向け改善工事を行ったほか、大分市の敷戸住宅において61戸の全面的改善工事に着手しました。

改善工事の施工例

○ 高齢者向け個別改善工事

エレベーターの設置されていない県営住宅の1階部分の住戸において、浴室やトイレに、手すりや設備等を設置し、高齢者の利用に配慮した改善工事を行いました。



浴室
手すり、給湯器、シャワーを設置しました。



トイレ
手すり、非常呼び出しボタンを設置しました。



○ 敷戸住宅全面的改善工事

入居者の移動を円滑にするため、エレベーターや片側廊下の設置等、全面的な改善工事に着手しました。



目標指標の達成状況

		10年前 (平成6年)	H16年度 (計画時)	H25年度	H26年度	H27年度 (目標値)
バリアフリー化された 県営住宅の割合	目標値a	—	—	20.0%	21.0%	22.2%
	実績値b	1.7%	11.2%	20.0%		—
	達成率b/a	—	—	100.0%		—
高齢者対応の 県営住宅の割合	目標値a	—	—	29.2%	30.0%	31.0%
	実績値b	4.9%	21.0%	29.6%		—
	達成率b/a	—	—	101.4%		—

業績評価

達成	平成21年度に策定した「大分県公営住宅等長寿命化計画」等に基づいて、計画的にバリアフリー化、高齢者対応に取り組んだ結果、目標を達成しました。
----	--